

上越市議会議員 宮崎朋子

— ミヤザキトモコ ギカイツウシン —

議会通信

◆令和6年度～上越市政のポイントと進捗～

●宮崎ともこの一般質問（3月・6月定例会分）

車中泊対応と海拔表示は？
災害から文化財を守る方法は？
春日山城跡無料シャトルバス、もっと周知しては？
誰もが気兼ねなく移動できる上越市を目指して！他

◆地域の今とこれから

◆議員活動奮闘記

～凸凹道を走り出す！～



Vol,16

発行月 2024年7月

発行者/上越市議会議員 宮崎朋子

表紙の色「ホリゾンブルー」
地平線、水平線近くの淡い青。
心穏やかに成れる色。

市民のために果敢
に取り組めます！

今と未来のための
福祉政策を推進！

新しい議会運営に
取り組めます！

- 所属
- 会派 つなぐ代表
- 厚生常任委員会
- 議会運営委員会副委員長
- 災害対策特別委員会
- 県道新井柿崎線の道路整備促進議員連盟副会長
- 保倉川放水路整備促進議員連盟
- 日韓親善上越市議会議員連盟
- 防災士議連
- 三和区国県道整備促進期成同盟会
- 桑曾根川・錦川改修促進期成同盟会
- 飯山・牧間県道昇格並びに整備促進期成同盟会

事務所

〒943-0231

新潟県上越市三和区鴨井471

携帯 090-3545-6087

q8s-3n8h@joetsu.ne.jp

FAX 025-333-0424

動く！しゃべる！動画チャンネル
「B面ともこ」配信中です！

パソコン、携帯、スマホ
から是非ご覧ください。



YouTube B面ともこ



宮崎朋子 議員活動 奮闘記

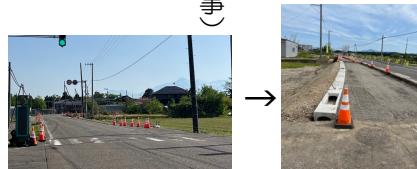
～凸凹道を走り出す！～

おかげさまで再び議席をいただくことができました。ただただまっすぐ
走ることしかできなかった4年間。向かった2期目のその道は、いきなり
凸凹。あらためて実践と学びの大切さを思い知った数ヶ月でした。
しかし、見える景色は今まで以上に鮮明で実に愛おしいのであります！
目の前にいるその人の、勇気を出して声を伝えてくれた
あの人の、そういう人たちが住む上越市のために、
宮崎ともこはこれからも邁進してまいります。



活動記録（1/27～6/21）

- 市内行事参加・見学（さんわ桜の陣／上越市消防フェア／
直播栽培実演／三和区振興会総会／三和方面隊連合演習他）
- 市内団体参加（三和区農業法人／防災士会女性支部他）
- 市民要望の調査、立会等（教育・除雪対策・観光・道路整備・
交通・災害対策・水道・文化財保存他）
- 調査研究（海拔表示と津波対策／避難所外避難の傾向／
小中学校の金融教育の実態／文化財保存地域計画について／
能登半島地震の被害状況／直播栽培実演見学／津波対策
ワークショップ見学／地方の公共交通政策他）
- 所管事務調査（第2次上越市総合公共交通計画後期再編計画／
上越市公共施設総合管理計画／日帰り・温浴施設の適正配置
の取組について）
- 議会通信発行（2月）
- 議会運営委員会（3回）
- 全員協議会（能登半島地震による市の
被害について／リージョンプラザ上越
の指定管理者による虚偽報告の対応に
ついて）
- 臨時会（5月20日）（正副議長他議会人事）
- 各種議員連盟総会（6月）
- 3月定例会（2月28日～3月22日）
- 6月定例会（6月7日～21日）
- 一般質問（3月15日）（6月17日）
- 総務常任委員会（3月11日・12日）
- 厚生常任委員会（6月12日）
- 災害対策特別委員会報告書を議長へ提出（3月）
- 個人議会報告（13ヶ所）



他 県道新井柿崎線の道路整備事業も着々と（三和区内）

●9月議会の予定
9月2日（月）～9月26日（木）
議会傍聴は是非お越しください！

地域の今とこれから

◆みんなで繋ぐ、地域のチカラ～最後の運動会に思う～

この度、三和区では小学校の統合により、上杉、美守、里公の
各校がその名前で行う最後の運動会が行われました。市外から
応援に駆けつける様子や、先輩中学生のお手伝い、そして住民
参加型の楽しい種目の数々。子ども達がのびのびと育つ、その
わけは地域力にあるのだと、あらためて気付かされた1日でした。



三校それぞれ特色
あるグラウンド
（三和区内）

◆直播栽培実演を見学 ～生産コスト低減と作期分散（高温対策など）のために～

3月議会で私は、直播栽培について総括質疑を行いました。
水稲V溝乾田直播栽培の実演見学会（4月板倉区）では、20cm
間隔に掘られたV字の溝に、種子と肥料が落とされ深さ5cmの溝
が切られるのはあっという間でした。期待される効果は通常の
移植栽培に比べて労働時間で約2割、10aあたり約1割の生産
コスト削減。課題は、初期投資や高齢化。地域農業の継続のた
め、私たち議会も真摯にお声を伺ってまいります。



様々な環境にも対応できる農業を目指して（板倉区）

宮崎ともこ、新たな挑戦!

新たな上越市議会がスタートいたしました。宮崎ともこは、2期目の議員としてこれからも、初心を忘れず真摯に仕事をまいります!

1、会派「つなぐ」を結成いたしました。新会派を立ち上げ、代表となりましました。何事もフラットに議論し、熟考し、行動できる集団を目指してまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。



フレッシュな気持ちで頑張ります!

2、厚生常任委員会に所属
農政建設、総務常任委員会を経験し、この度は特に高齢者を取り巻く課題や障害者福祉の理解を深めたいと考え、厚生常任委員会に所属いたしました。

3、議会運営委員会副委員長に就任
議会が円滑に進むよう、常に進化する議会運営を目指します!

4、議会改革推進特別委員会に所属
通年会期制、議会基本条例の検証、政治倫理条例の制定などを検討してまいります。

5、災害対策特別委員会に所属
経験をさらに前へ。市内の防災・減災対策への提言と、議会における災害時の組織体制の構築に力を入れてまいります。

令和6年度～上越市政のポイントと進捗～

(3月・6月定例会より抜粋)

ポイントは、国が目指す「子ども豊かな社会」に関わる事業の拡充。一方で、中小企業や農林水産業の継続、インフラの維持、空き家対策など、人不足の影響は顕著になっています。市議会としても、チェック機能をはたらかせ、良い事業は継続し、改善すべき事業はしっかり指摘してまいります。

★宮崎が委員会や一般質問などで提言してきた事案

6月定例会内容

6月補正予算→児童扶養手当給付事業(全部支給、一部支給の所得制限限度額の引き上げと第3子以降の加算額の拡充(国の制度改正))

6月補正予算→児童手当給付事業(所得制限の撤廃、高校生年代までの支給期間の延長、第3子以降の加算額の拡充)

6月補正予算→移住定住促進として、中古住宅の購入に係る補助金を増額

6月補正予算→「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録を見据えた新たな観光キャンペーンを行う

6月予算→国が進める現行の被保険者証の発行を本年12月に終了し、マイナンバーカードを被保険者証として利用いただくための事業(国民健康保険の被保険者に対し、本年9月に個人番号のお知らせを送付する)(マイナ保険証を保有されない方には、令和7年7月末までに資格確認証が交付されます)*マイナンバーカード取得は任意

6月補正予算→災害廃棄物の処理、被災家屋解体支援に係る経費を増額(91,050千円)

6月追加予算→農林水産業融資支援事業を拡充。春以降の降雨状況、夏の渇水の場合に備えて農地活水・高温対策事業を創設(10,200千円)

1,予算は1,023億1903万円(前年比7.9%増)でスタート(一般会計)

①自主財源は約4割。依存財源(地方交付税や国庫支出金など)は約6割。今後、人口減少等により市税収入減が懸念されます。

2,暮らしを守り、未来に繋がるまちづくり

- ①保倉川放水路沿川まちづくり(6,385千円)
②食品ロス削減も含む、一般廃棄物処理基本計画の改定(2,077千円)
★③道路舗装点検におけるAI診断の試行導入(1,942千円)
④タクシー人材の確保支援(2,816千円)

3,子ども・若者・子育て世代が住みやすいまちに

- ★①起業家マインド養成(45千円)
★②若者等の意向を把握するための調査
③養育費の取り決め支援(2,000千円)
④放課後児童クラブに係るサービスの拡充(保護者連絡用アプリの導入と昼食配食サービスの実施と昼食代の支援など)
★④小学校の統合に必要な改修工事・整備等(391,078千円)



4,働く人を応援する仕組みづくり

- ①求人・求職トータルサポート事業(35,266千円)
②スマート林業の促進(1,099千円)

5,観光振興対策

- ★①通年観光の推進(春日山、直江津、高田地域の基本計画策定等)(86,611千円)
②首都圏における上越市の魅力発信(4,705千円)

6,福祉政策の拡充

- ①地域包括支援センターの機能強化(春日区に新設)(313,992千円)
②認知症高齢者への見守りGPSの試行導入(682千円)
③がん患者医療用補正具購入費用の助成(3,175千円)
④健康DXアプリ(健診結果や歩数等の可視化)の利用者の拡大(8,274千円)

7,能登半島地震の被害者支援・津波対策

- ①被災者住宅修理支援(100,000千円)
★②指定文化財及び国登録有形文化財の復旧支援(23,306千円)
③被災した中小企業者向け支援(118,051千円)や農地・農業用施設等の復旧等(132,000千円)
④町内会による個別避難計画策定を支援(1,000千円)
⑤木造住宅耐震化支援 など

詳しくは、上越市HP及び、かけはしをご覧ください → <https://www.city.joetsu.niigata.jp/>

宮崎ともこの一般質問 (3月・6月定例会抜粋)

質問1 今後、本市においても避難所外避難(車中泊や自宅避難など)が増えるのではないかと考えるがどう対応しているか?

答 本市では、指定避難所に滞在することができない被災者に対しても、食料品など必要な物資の配布、保健師等の巡回健康相談、被災者への支援情報の伝達等を行い、生活環境の確保に努めることとしている。しかしながら分散避難においては、全員に必要な支援や物資を届けることは困難になつてくる。そのようなことが無いように関係機関と連携していく。

質問2 土地勘の無い人にもわかるような海抜表示が津波対策には必要ではないか?

答 市ではこれまで、観光客や仕事で訪れた方などが想定されている地域において、津波浸水が想定されている地域において、指定緊急避難場所や津波避難ビルまでの方向、距離及び海抜を示した津波避難誘導表示板を90カ所、118枚設置している。市としては、沿岸部にお住まいの皆さんへの聞き取りや意見交換などを通じて実態を把握する中で、より適切な津波避難誘導表示板の設置箇所や設置数について検討を行い、必要な対応を図ってまいります。



質問3 春日山城跡無料シャトルバスはのどろろの活用はどの程度か?名称募集をやってみては?

答 元来、渋滞緩和策として行ってきたが、現在は気分を盛り上げるための仕掛けづくりも検討していきたい。現在、お盆期間で2600人、大型連休期間では6400人の利用がある。名称や車内アナウンスは、前向きに考えたい。

質問4 誰もが気兼ねなく移動できる「戸口」の社会が理想。好評な予約型コミュニティバスの状況は?また今後、相乗りタクシーや住民互助輸送、グリーンタクシーや住民互助(低速の小型電動車)の可能性は?

答 予約型コミュニティバスは、これまで安塚区、牧区で導入。今年度は、浦川原区及び大島区で実証実験を、令和7年には板倉区、令和8年には名立区、令和9年度には吉川区・金谷区での導入を計画。区内を自由に移動でき、住民には好評。相乗りタクシーと同等のサービスとして、当市では予約型コミュニティバスを運行してきた。現在は区内のみだが、事業者と相談しながら、将来的には運行範囲の拡大が可能と考えている。住民互助輸送は、三和区等で行っているが、今後も導入予定がある。グリーンタクシーは、当市の積雪の課題もあり、市民の移動手段としての活用を検討している。

一議会の様子はこちらでどうぞ(本会議/委員会等) → [joetsu-city.stream.jfit.co.jp](https://www.city.joetsu.niigata.jp/)